

**平成30年度 土木部
2月補正予算案概要**

**平成31年2月18日
福島県土木部**

概要

- 1 国の補正予算に伴う補正を行います。
- 2 その他、年間所要見込みによる補正を行います。

※土木部の一般会計全体としては、
▲35億1,156万円の減額補正となっています。

予算の規模（国の補正予算に伴う補正）

一般会計合計	112億3,581万円
● 県事業	102億2,448万円
・交付金事業（河川）	57億6,660万円
・交付金事業（砂防）	10億5,930万円
・交付金事業（道路）	28億5,053万円
・交付金事業（街路）	5億4,805万円
● 国直轄事業費負担金	10億1,133万円

主な事業内容

国の補正予算に伴う補正

- ・ 樹木伐採・河道掘削等の緊急対策を実施します。 P.1
- ・ 円滑な避難の確保や土砂・洪水氾濫等に関する緊急対策を実施します。 P.2
- ・ 道路の落石や雪崩対策等を実施します。 P.3

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に対応した、洪水氾濫の解消に向け、樹木伐採・河道掘削等の緊急対策を実施します。

事業の概要

- 平成30年7月豪雨等、全国で大規模な自然災害が頻発している状況を受け実施した「重要インフラの緊急点検」の結果を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に対応した、ハード・ソフトの両面から治水対策を実施します。

◇交付金事業(河川) (補正額 5,767百万円)

【ハード対策】

- ①洪水氾濫等に対応した樹木伐採・河道掘削
事業箇所：只見川（会津坂下町）外74箇所
事業費：5,410百万円

【補正の内容】 樹木伐採・河道掘削等を行うことで、近年の洪水等に対して氾濫を防止します。



(出典：国土交通省資料)

【ソフト対策】

- ②切迫性のある分かりやすい河川画像等の提供
事業箇所：松川（福島市）外36箇所
事業費：78百万円

【補正の内容】 人家や重要施設のある箇所において、簡易型河川監視カメラを設置します。

- ③河川情報の空白地帯の解消
事業箇所：久慈川（棚倉町）外18箇所
事業費：279百万円

【補正の内容】 想定最大規模の降雨に対応した洪水浸水想定区域図の作成や水位局舎の浸水対策を実施します。

簡易型河川監視カメラ



(出典：国土交通省資料)

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に対応した、円滑な避難の確保や土砂・洪水氾濫等に関する緊急対策を実施します。

事業の概要

- 平成30年7月豪雨等、全国で大規模な自然災害が頻発している状況を受け実施した「重要インフラの緊急点検」の結果を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に対応した、砂防えん堤工等の土砂災害対策を実施します。

◇交付金事業(砂防) (補正額 1,059百万円)

【円滑な避難の確保対策】

事業箇所：大塩川（北塩原村）外9箇所
事業費：556百万円

【補正の内容】 砂防関係施設を整備することで、土砂災害から避難所や避難路を保全します。

【インフラ・ライフラインの保全対策】

事業箇所：叶津川（只見町）
事業費：42百万円

【補正の内容】 砂防えん堤を整備することで、土砂災害からインフラ・ライフラインを保全します。

【中小河川緊急治水対策プロジェクト】

事業箇所：宮ノ沢（南会津町）
事業費：46百万円

【補正の内容】 土砂・流木の流出防止対策が必要な溪流において透過型砂防えん堤等を整備します。

【土砂・洪水氾濫対策】

事業箇所：院内沢（会津若松市）外2箇所
事業費：415百万円

【補正の内容】 土砂・洪水氾濫に対応した砂防関係施設を整備することで、土砂災害を防止します。

透過型砂防えん堤



流木捕捉事例



(出典：国土交通省資料)

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等に対応した、落石や雪崩対策等を実施します。

事業の概要

○「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等に対応した、緊急輸送路等で防災・減災に資する落石や雪崩対策等を実施します。

◇交付金事業(道路)(補正額 2,851百万円)

事業箇所：国道118号(天栄村)ほか

事業費：2,851百万円

【補正の内容】落石対策を実施します。

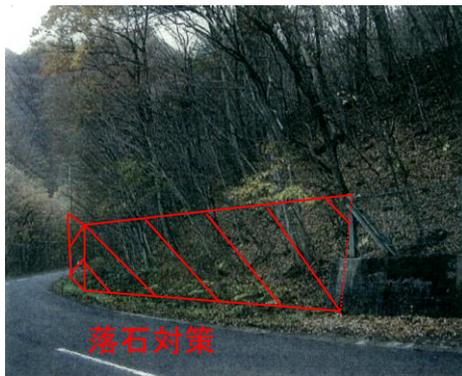
【補正の内容】雪崩対策を実施します。



斜面の転石



斜面の浮石



落石対策



落石防護柵設置予定箇所

国道118号(天栄村) 至 須賀川市



雪崩防護柵



雪崩防護柵設置予定箇所

国道352号(檜枝岐村) 至 新潟県